

校長室から (NO. 20)

「自遊園」に輝き取り戻す

夏休みが始まり、学校は、しんと静まりかえっています。7月の間中、子供たちの明るく楽しそうな声が響いていた「自遊園」も、今は、ひっそり。特に、2年生が、生活科の学習で「自遊園」を活動の拠点にして毎日夢中になって遊んでいたの、なおさら寂しく感じます。



本校の「自遊園」は、子供たちが自然に親しみたくましく育つことを願って整備された校庭です。水の流れを生かした遊び場には、隠れた魅力や貴重な生き物、子供たちだからこそ思いつく遊びがあります。



いととんぼ、あかね、しおからどんぼにギンヤンマ、めだかやどじょう、おたまにカエル、くろ藻にカナダ藻が生息し、小さな池ではありますが、うまく生態系が築かれています。そんな池での生き物との出会いを楽しみ、また、水を使った遊びや、草花集め等々、1か月あまりたっぷりの「自遊園」に親しんだ2年生は、「『自遊園』はね、放生津小学校にしかない特別な素敵な場所」と誇らしげでした。



そして、7月19日(金)全校児童を招待して、「自遊園」のすてきをみなに紹介してくれました。

再び、自遊園にスポットが当たり、輝き取り戻したことを私は、たいへんうれしく思います。

